

平成29年度 公共事業再評価調書

(区分) 国補・**県単**

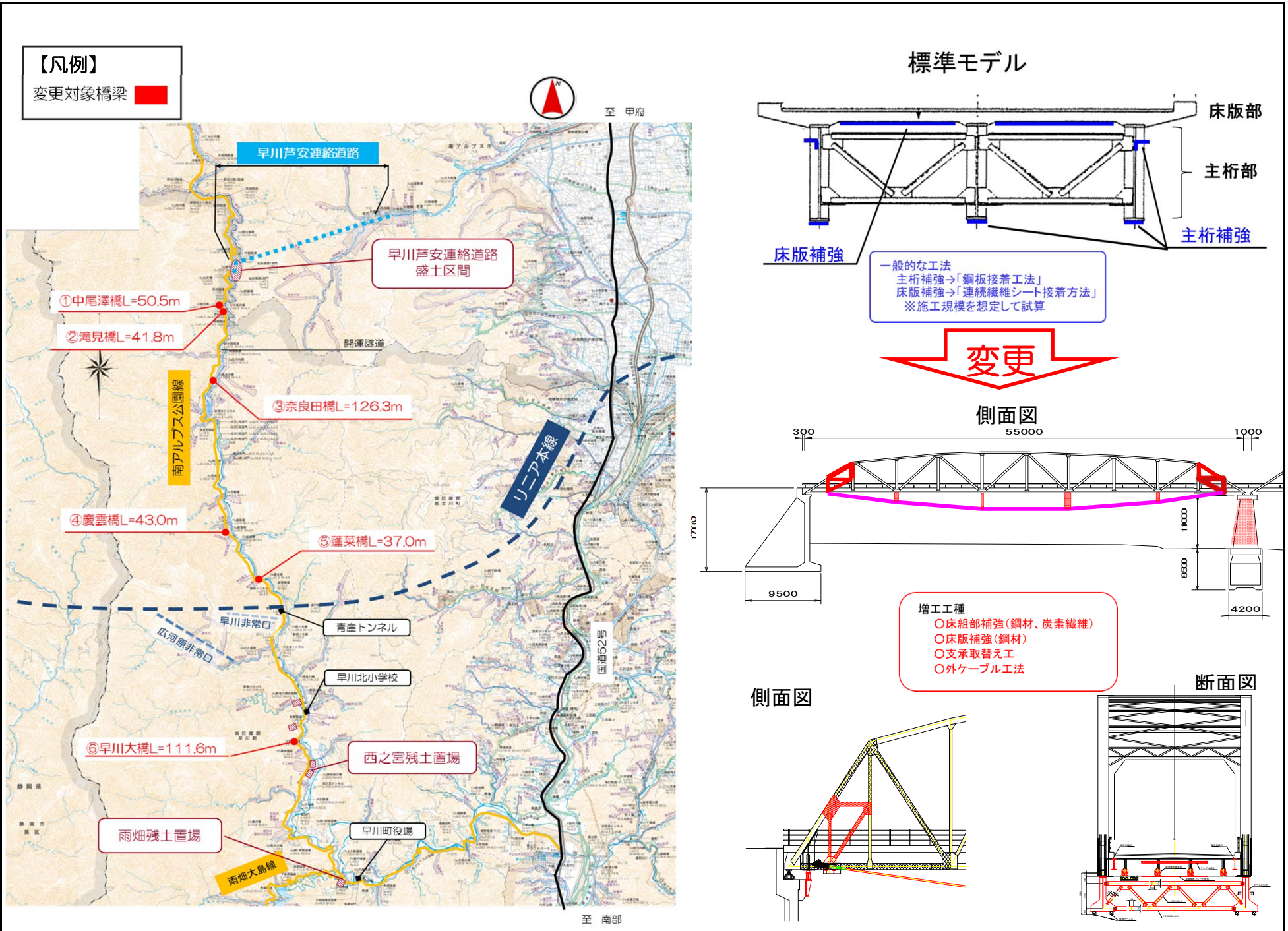
1. 再評価調書

事業名	道路事業 [道路修繕事業 (県単)]		事業箇所	南巨摩郡早川町早川外	地区名	(主) 南アルプス公園線 (早川大橋外5橋)	事業主体	山 梨 県
	当初計画	現計画	今回見直し予定	⑤再評価時の評価状況 なし				
計画期間	H28~H30	—	—					
総事業費	702百万円	—	2,477百万円					
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果 南アルプス公園線は、早川町内を縦走する唯一の生活道路であるとともに、国道52号から南アルプス登山の玄関口である広河原を結ぶ観光道路である。 今回、JR東海が進めているリニア中央新幹線建設工事に伴い、トンネル残土運搬車両を始め、多くの大型工事車両が県道を通行することとなったが、現道に架かる橋梁には、車両重量規制(14t)の橋梁があり、増加する大型車両(20t超)が繰り返し通行することによる橋梁への損傷は、地域住民の生活や観光に大きく影響を及ぼす恐れがある。 このため、重量規制のある橋梁の耐荷力を増加する補強工事をJR東海と県双方の費用負担により実施し、通行車両の安全性を確保するものである。								
②事業概要 耐荷補強橋梁数：6橋 (中尾澤橋、滝見橋、奈良田橋、慶雲橋、蓬来橋、早川大橋) ※JRとの協定=22橋								
③現計画の全体計画 (今回の再評価で変更する前の内容)								
	平成28年度まで	平成29年度以降 (評価実施年度)						
工事内容	橋梁調査・耐荷補強設計 一式	橋梁耐荷補強工事 6橋						
事業費	60百万円	642百万円						
④特記事項 ・H29.3 橋梁耐荷補強の協定の締結 県負担 11% JR負担 89%								
②評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)								
①地域・住民の意向状況 事業実施にあたり、残土運搬時の安全対策、環境保全等についてJRが地元説明会を開催 ・H27.10~11 早川町全体 ・H28.12 新倉地区、茂倉地区、中州地区 ・H29.9 西山地区								
②産業・経済情勢 ・H29.11月以降 残土運搬車両が段階的に増加予定								
③国等の方針変更 なし								
④上位計画・関連事業計画等の変更 なし								
⑤自然環境条件等の変化 なし								
⑥その他 なし								
③評価項目 [再評価時点の費用対効果分析] 橋梁を耐荷補強する事業であり、費用便益の算出規定がないため不算出。								

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p>	<p>⑤今後の事業執行上の問題点</p>															
<p>①これまでの計画変更等の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年12月より、耐荷補強工事に関する調査・設計業務に着手。 リニア中央新幹線建設工事の全体工程を踏まえ、橋梁耐荷補強工事の着手を平成29年10月末を目途とする協定を平成29年3月に締結。 耐荷補強工法の選定段階では、JR東海と継続的に協議を実施し現在に至る。 	<ul style="list-style-type: none"> 変更対象のトラス・アーチ橋等の6橋について、一般的な補強工法が可能と考え事業費を算出していたが、詳細な現地調査及び設計を実施した結果、補強部材の重量が大幅に増えたことにより、抜本的な工法の見直しをせざるを得なくなった。 補強工法を見直した結果、「当て板工法」と併せて、荷重軽減対策としての「外ケーブル工」や「支承取替え工」、「橋脚補強工」等の追加工法が必要となり、事業費が約3.5倍の増額となる。 															
<p>②施行済みの事業内容（(1)）③「全体計画」に記載した内容と比較</p>	<p>⑥今後の事業の進捗の見込み（計画期間について記載）</p>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度まで</th> <th>平成29年度 (評価実施年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事内容</td> <td>橋梁調査 橋梁予備・詳細設計</td> <td>耐荷補強工事 6橋</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>60百万円</td> <td>642百万円(予定)</td> </tr> </tbody> </table>		平成28年度まで	平成29年度 (評価実施年度)	工事内容	橋梁調査 橋梁予備・詳細設計	耐荷補強工事 6橋	事業費	60百万円	642百万円(予定)	<p>リニアトンネル工事の残土運搬交通量は平成29年11月より段階的に増加していくことから、平成29予算の執行により、橋梁耐荷補強工事を早期に進め、平成30年度の完成を目指す。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性（総事業費について記載）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>見直し後事業費</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早川大橋外5橋</td> <td>2,477百万円</td> <td>1,775百万円増</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	見直し後事業費	増 減	早川大橋外5橋	2,477百万円	1,775百万円増
	平成28年度まで	平成29年度 (評価実施年度)														
工事内容	橋梁調査 橋梁予備・詳細設計	耐荷補強工事 6橋														
事業費	60百万円	642百万円(予定)														
内 容	見直し後事業費	増 減														
早川大橋外5橋	2,477百万円	1,775百万円増														
<p>③進捗率（現計画に対する実績）</p>	<p>(5) 評価項目 [環境への配慮]</p>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>*平成28年度</th> <th>*平成29年度</th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>7.1</td> <td>100.0</td> <td>計画事業費／総事業費×100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>7.1</td> <td>100.0</td> <td>計画事業費／総事業費×100</td> </tr> </tbody> </table> <p>*事業着手年度又は再評価年度。H29の実績は見込み。</p>		*平成28年度	*平成29年度	算出方法	計 画	7.1	100.0	計画事業費／総事業費×100	実 績	7.1	100.0	計画事業費／総事業費×100	<p>現存の橋を補強するため、自然環境への影響が少ない計画である。</p> <p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]</p> <p>工事発注や施工段階でのコスト縮減を検討する。</p>			
	*平成28年度	*平成29年度	算出方法													
計 画	7.1	100.0	計画事業費／総事業費×100													
実 績	7.1	100.0	計画事業費／総事業費×100													
<p>④事業の進捗が順調でない理由</p>	<p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]</p>															
<ul style="list-style-type: none"> リニア中央新幹線建設工事の全体工程に遅れが生じないよう、JR東海と密に協議を実施し、事業は順調に進んでいるが、工法変更に伴う事業費の増額が必要となる。 	<p>技術的知見と経験が豊富な複数の設計コンサルタントと「技術検討会」を開催し、現交通を確保しつつ施工する最適な工法を選択しているため、代替案はない。</p>															
	<p>(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続 その他 ()</p> <p>(理由)</p> <p>平成39年度の開業を目指しているリニア中央新幹線建設工事の全体工程に遅れを生じさせないため、また、安全に安心して通行できる橋の機能を確保するために不可欠な事業であることから、事業費を増額し継続実施していく。</p>															

3. 添付資料シート(1)



①中尾澤橋



②滝見橋



③奈良田橋



④慶雲橋



⑤蓬来橋



⑥早川大橋



年度別事業費内訳表（今回変更後の内容）

年度	見直し後事業費（千円）	事業概要	進捗率
H28	60,000	橋梁調査、橋梁予備・詳細設計 一式	2.4%
H29	2,417,000	橋梁耐荷補強工事 6橋	100.0%
H30			
合計	2,477,000		